熊谷組グループ

熊谷組

株式会社熊谷組 総合建設業



株式会社ガイアート 舗装・土木事業 アスファルト合材等の

製品製造・販売事業



ケーアンドイー株式会社 建物・設備リニューアル事業



テクノス株式会社 建設用資機材の製造・ 環境事業・土木リニューアル事業



テクノスペース・クリエイツ 株式会社 施工図作成・教育事業



株式会社 ファテック 総合技術商社



株式会社 テクニカルサポート 事務代行事業・保険代理店事業



華熊營造股份 有限公司 建設事業(台湾)



0

0

0

0

私たちがつくるのは、単なる建物や構造物だけでなく、 そこに集う人々とともにつくりあげていくコミュニティーです。

高める、つくる、そして、支える。



株式会社熊谷組 〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2-1

https://www.kumagaigumi.co.jp



[お問い合わせ先] 経営戦略本部 サステナビリティ推進部

TEL: 03-3235-8114 FAX: 03-5261-9665 E-mail sustainability@ku.kumagaigumi.co.jp



0

0

0

0







0







「社会から求められる建設サービス業の担い手」として 社会課題と真摯に向き合い、 「限りある資源が循環し、 ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会し の実現に貢献します。

熊谷組の創業者・熊谷三太郎は、 「いつか世の中のお為になるような仕事をさせていただきたい」 「難所難物(困難な工事)があれば、私にやらせてください」という言葉を遺しました。

> 私たちは、この言葉に込められた"誠実さ"と"挑戦心"を 創業の精神として綿々と受け継いでおり、 社会貢献活動の基本的な考え方としています。

熊谷組は、社員が独自の社会貢献活動プラットフォームである 態谷組スマイルプロジェクトを構築し、 見える化にも取り組んでいます。

社員一人ひとりの力は小さくとも、 それが活動として集まれば大きな社会貢献につながります。 さらに、私たちは活動を通じて、人間力を高め、 多様な自己実現の場を提供します。

> 風通しの良い企業風土の中で、 毎年着実に前進している私たちの取組みに、 これからもぜひご期待ください。



熊台組久マイルプロジェクト

熊谷組スマイルプロジェクトは、社員一人ひとりの活動に対して、

より大きな社会貢献を生み出す仕組みとして2019年5月に開始しました。

本プロジェクトでは以下の3つの効果が期待されます。

期待される効果



社会貢献を 身近に

各拠点の活動を可視化・一元化すること で、社員が意欲的に社会貢献活動ができ る環境を醸成します。



小さな力を より大きく

社員一人ひとりの活動に会社が拠出する ことで、相乗効果を生み出し、活動の幅 を広げます。



一人ひとりの力を チームの力に

社員が熊谷組の"いいところ"を知るきっ かけとなり、一人ひとりの力がチームの 力につながる活力あふれる会社を目指し

社員による主な社会貢献活動















活動報告書を事務局に提出

社員の活動を1回1ポイントとして集計



ト 額相当の資金を会社が拠出



拠出金を社会貢献活動として活用(寄付や活動費)

























		延べ人数	主な取組み
これまでの実績	2019年	1,509名	●ポイントの使途として団体支援を決定、支援先を選定 ●本部・支店の担当者を選任
	2020年	1,307名	●コロナ禍の対応として、新たにセルフウォークリレー、献血活動、備蓄品や食品の寄付等人との接触を最小限にした活動 ●福祉関連活動の参加者が増加
	2021年	1,850名	●ウクライナ支援●新規支援先団体の検討
	2022年	2,190名	●コロナ禍の影響で中止となっていた活動が感染対策を行いながら、徐々に再開 ●本部と支店のスマイルプロジェクト担当者会議を開催 ●「ボランティア保険」の加入手続き方法の標準化 ●新規支援先団体として一般社団法人日本障がい者サッカー連盟(JIFF)を選定 ●ウクライナ支援 ●トルコ・シリア大地震支援
	2023年	1,875名	●スマイルプロジェクトアンケートの実施 ●令和6年能登半島地震支援
	2024年	2,312名	●ポイントのカウント方法の変更と対象者の拡大 ●社員からの活動報告方法を効率化 ●経団連1%クラブ加入 ●新規支援先団体として公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)を選定



支援先団体のご紹介と

主な社会貢献活動



NPO法人子育てひろば全国連絡協議会









NPO法人子育てひろば全国連絡協議会では、すべての子育て家庭が孤立せず、安心して子どもを育てることができる社会づくりを目指し、地域子育て支援拠点事業の運営を支援しています。 熊谷組グループでは、そこに集う子どもたちに、当社グループが設計した、牛乳パックでできたおもちゃ「くまトレイン」を社員が手づくりし、プレゼントしました。 また、子育てひろばを訪問し、ウッドデッキやぶどう棚のペンキ塗り等のボランティア活動を行っています。 今後も、本活動を通じて地域社会とのコミュニケーションを推進します。

一般社団法人日本障がい者 サッカー連盟(JIFF)









一般社団法人日本障がい者サッカー連盟(JIFF)では、7つの障がい者サッカー団体の活動を支援しており、広くサッカーを通じて、障がいの有無にかかわらず一人ひとりの個性が尊重される共生社会の実現に向けて活動しています。熊谷組グループはこの趣旨に賛同し、2023年度より「JIFFインクルーシブ教育プログラム」に協賛しています。近隣の小中学校で、障がい者に対する理解促進やコミュニケーションのとり方等を中心とした授業を開催する等、ボランティアに参加した社員にとっても学びの多い場となりました。

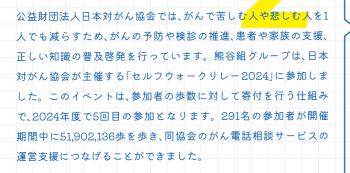








公益財団法人日本対がん協会













公益財団法人世界自然保護基金 ジャパン(WWFジャパン)

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)は、100 か国以上で活動している環境保全団体で、人を自然が調和して生きられる未来を目指して、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止等の活動を行っています。 熊谷組グループは2025年4月、WWFジャパンと3年間のコーポレート・パートナーシップを締結しました。3年間の取組みのうちの一つに社員のボランティア参加があり、2025年度は、南三陸町震災復興祈念公園で、桜の木の土壌改良活動を実施しました。



認定NPO法人

全国こども食堂支援センター・むすびえ









認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえでは、誰も取りこぼさない社会をつくりたいという想いで、全国のこども食堂や、こども食堂を支える地域ネットワークがより活動しやすくなるための支援等を行っています。また、こども食堂が全国のどこにでもあり、みんなが安心して行ける場所となるよう環境を整えています。 熊谷組グループでは、本社ビルや支店で備蓄している食料品を全国のこども食堂に寄付したほか、こども食堂やフードパントリーでのボランティアに参加しています。

熊谷組の国際貢献活動 KUMAGAI STAR PROJECT(通称:クマスタ)

「KUMAGAI STAR PROJECT」(通称:クマスタ) は、熊谷組の国際社会貢献活動の総称です。2015年に「国際社会貢献としての学校校舎建設」プロジェクトとして発足し、これまでにミャンマーにて3校の小中学校の校舎を建設しました。また、そこに通う生徒への奨学金の支援や、生徒が中学校を卒業するまで手紙等で交流する「見守り社員」制度を設け、多くの社員が関わってきました。今後も、熊谷組の海外営業拠点の地域を中心として、引き続き活動を推進していきます。







3

社員による主な社会貢献活動

グループ会社の社会貢献活動



熊谷組では、環境に関する社会貢献活動として、地域の美化活 動を積極的に行っています。本社や各支店、建設現場周辺の 清掃活動、また草刈り活動等を行うことで、地域やそこに集 う人とのつながりを構築しています。



熊谷組では、本社近隣の小学校を対象に、環境学習を実施しています。 この環境学習は当社社員が講師となり、毎年継続的に実施しています。 講義だけでなく、子どもたちにはオリジナルのマイエコバッグを作っ てもらっています。また、クイズ等により、子どもたちの環境への 理解促進に努めています。



子どもものづくり教室



テクノス(株)では、豊川商工会議所機械金属工業部会主催の「子ども ものづくり教室 | に指導員として参加しています。テクノス(株)の顧問 (相談役)も部会長として、活動を支援しています。この活動では、仕事を引

退した人や現役の会社員、高校生等多様なボランティアが指導員を務めてい ます。2007年より本活動に携わって以来、これまでに様々なテーマのものづ くりに挑戦し、子どもたちにものづくりの楽しさを伝えています。参加した 子どもたちには、テクノス(株)豊川工場の端材で作った記念品をプレゼント。

未来を担う子どもたちの育成を通じて、地域社会に貢献しています。

テクノス株式会社



障がい者雇用支援・献血

熊谷組では、12月を独自の「障がい者月間」と位 置づけています。障がい者月間の取組みを浸透 させるとともに、障がい者雇用への意識啓発を促 す一環として、スワンベーカリーのパン販売会 (販売元:(株)スワン)を2021年から毎年開催し ています。また、その他の福祉活動として、献血 会を実施しており、本社だけでなく、支店でも積 極的に参加しています。



仮囲いの活用

地域活性化

熊谷組の建設現場の仮囲いには、近隣の学校の子どもたちが描いた 絵画を掲示しています。工事の目的をご理解いただくとともに、地 域の皆さまや学校等との交流の場をつくり、コミュニケーショ ンの活性化に貢献しています。



障がい者アート・ARTPROJECT」 展示 & 販売会 (2025年2月)



仮囲いに障がいのある方々の





ARTPROJECT活動 **K&C**

ケーアンドイー(株)が掲げる「社会課題への行動指針」の 一環として、NPO法人列島会「創造館クリエイティブハウ ス」(福岡県北九州市)の障がいのある方々が創作したアー ト作品を通じた就労支援に賛同し、アートカレンダーの購 入や建設現場の仮囲いへのアート作品の掲示といった活 動に取り組んでいます。障がいのある方々が生きがいを 感じながら創作活動を続けられるよう、今後もこの取組み を継続していきます。





障がい者アートの原画



障がいのある方々の



現場見学会

熊谷組では、建設現場近隣の学校を対象に現場見学会を実施しています。 参加者には、実際に建設現場を見て仕組みや作り方等を知っていただき、日頃 から専門的に建設について学んでいる参加者には、学んでいる内容が建設現場 でどのように活かされているか実感していただく機会としています。



茨城県つくば市にある技術研究所では、社会貢献活動の一環とし て見学者を受け入れています。地域の小中学生の社会科見学や他 県の高校生の修学旅行等、毎年200人以上が訪問しています。 子どもたちに技術への興味を持ってもらえるよう、体験 型学習の機会を提供しています。









(株)ガイアートでは、地域貢献活動の一環として、2016年から福 井県内の小学校で「はたらくクルマ」の出前授業を行っています。 2024年度は県内8校から計182名が参加し、当日は地元のテレビ局や 新聞社の取材もありました。除雪車の紹介やラジコン操作の体験を 通じて子どもたちの関心も高まり、楽しく学んでもらうことがで きました。この学びの場には、これまで累計約1,200人の子 どもたちの参加があり、地域を支える仕事の大切さを子 どもたちに伝えるとともに、キャリア教育の場とし ても高い評価をいただいています。

